

抗菌薬の正しい使い方



こういう経験はありませんか？

- ・風邪をひいた時に、昔処方された抗菌薬を内服した
- ・症状が軽くなったため、自己判断で抗菌薬を中断した

これは誤った使い方です



抗菌薬とは

病気の原因となる細菌を殺したり増やさなくする薬です。

抗菌薬のうち、細菌や真菌などの生き物から作られるものを抗生物質といいます。

実は…抗菌薬はウイルスによる感染症には効果がありません！

さらに 誤った使用は薬剤耐性菌を作るリスクを高めます！

薬剤耐性菌とは

むやみに抗菌薬を使用すると抗菌薬が効きにくい薬剤耐性菌が生まれる可能性があります。

薬剤耐性菌ができると、将来、抗菌薬が必要な病気の治療で使用できる薬が少なくなったり、予防や治療がうまくいかなくなったりすることがあります。



★抗菌薬の正しい使い方

- むやみに医師に抗菌薬の処方を希望しない
- 処方された抗菌薬は症状が治っても最後まで飲み切る
- 処方された薬はあげない、もらわない
- 過去に余った薬は自己判断で使わず薬剤師等に相談する

薬剤耐性菌を作らないために

抗菌薬を正しく使用しましょう！

